

令和4年12月6日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

総務文教常任委員会

委員長 岩澤 信

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 市内市立小中学校PTA会長・副会長との意見交換会時の要望・意見について
- 2 調査の経過 令和4年12月6日
- 3 意見 別紙のとおり

【総務文教常任委員会】令和4年7月2日 市内市立小学校PTA会長・副会長との意見交換会（要望・意見）

項目	要望・意見	現状の調査結果
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクによる弊害として、小学校高学年女子は恥ずかしいのでマスクを外せない児童がいることや集団での仲間意識が希薄でひとつにまとまること（集団行動等）が苦手になってきているなどコミュニケーション不足であり、家庭や学校でどのように対応したらよいか。</li> <li>・マスク慣れし、猛暑の中、体育でもマスクを外さない。心配なため対応が必要。</li> </ul>	<p>現段階では、熱中症予防の観点から、登下校時や体育授業、小グループでの活動に関して、教員からマスクを外す指導を行っています。また、教育委員会から保護者へ、その旨の通知を出しています。今後の感染予防の状況を確認しながら、マスクがコミュニケーションの弊害にならないよう努めています。</p>
2	<p>愛校作業である校庭の草取りが、先生も忙し過ぎてできない。業者に頼む予算もなくどうしたらよいか。</p>	<p>令和3年度から、シルバー人材センターに委託し、各学校の草刈り等を行っています。これに加え、防草シートをはることによって、できるだけ作業量を減らすように努めています。また、令和4年度はPTA活動として草刈りや清掃作業を行っている学校もあると伺っています。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でのネット環境整備、特にWi-Fi環境を整備してほしい。</li> <li>・Wi-Fiの通信環境が学校により異なっている。調査をしながら実態を把握してほしい。</li> <li>・オンライン環境の統一化(学校によって偏りがある。)</li> </ul>	<p>令和4年度の4月と6月の議会で、古いアクセスポイントを更新する補正予算を可決しました。これに基づき、夏休み期間中に工事を行い、学校内のWi-Fi環境の改善を行いました。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年児童の家庭でのタブレットによるオンライン授業は、一人での操作は難しく、親も教え方が分からず負担が大きい。タブレットの操作方法の教え方を明確にしてほしい。</li> <li>・小2の子どもがタブレットの操作が分からず困った。低学年のオンライン授業では保護者がつきっきりとなった。学校でタブレットを使う授業が少なく覚えたようでも忘れていく。</li> </ul>	<p>コロナ禍が始まった当初の一斉臨時休校時には、タブレットの操作方法について、各ご家庭にプリントを配布してお知らせしていましたが、操作方法の詳細についての問合せがあったことは把握しています。しかし、現在は、タブレット導入から1年以上が経過し、学校での操作方法の習得も進んでいます。今後も一つ一つ改善を図っていきます。</p>
5	<p>コロナ禍でPTA活動がほとんど行われず、余りつつあるPTA会費の有効な活用方法があれば教えてほしい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>

6	PTA役員は、現在おおむね一本釣りのような形で選出されている。今後、後継者を選ぶに当たり、仕事を持っている人やサラリーマン等でも会長や副会長ができるように役割をソフトにすることや役割分担をするなど、後継者問題をどう捉えて行けばよいのか。	ご意見として受け止めさせていただきます。
7	コロナ前のPTA活動を知っている役員が減少していく中、今後PTA活動の運営をどうしていくか組織の過渡期である。なくすことはできないが、役員の負担を減らし組織のスリム化を図るなど、新たな形で行っていくのはいかがか。	ご意見として受け止めさせていただきます。
8	オンライン環境を活かし学校行事の配信(授業参観等)	現在、運動会や体育祭、合唱コンクール等のオンライン配信を行っている小中学校がありますが、PTAの方々のご協力で配信を行っている状況です。授業参観のオンライン配信については、映像に映りたくないお子さんがいたり、配信となると全てのお子さんを映像に入れる必要があるなどの事情で、映像内容が作りものようになり、普段の様子を保護者が参観するという授業参観の本来の趣旨から外れてくることが懸念されます。そのため、引き続き、オンラインの特性を踏まえた上で、その活用方法について検討していきます。
9	ホームページを活用、ペーパーレスの推進	現在、各学校から保護者へのメール配信システムがありますが、11月からアプリを活用して、緊急のデータを配信できるシステムが導入されました。また、各学校ホームページにおいては、学校行事や授業風景などが更新されています。
10	登下校時の見守りができる方への取り組み	各学校が主体となって、スクールガードの皆様に登下校の付き添い、見守り、巡回パトロールなどの活動を行っていただいています。また、スクールガードの活動中の事故の際の保険については、市で対応しています。
11	コロナ禍で先生方の働き方改革が進んだとも言えるが、子どもたちの成長を見てもらうことも大事なので、よろしくお願ひしたい。	働き方改革は、ICT機器を効果的に活用することにより事務処理の時間を短縮させ、子どもたちと触れ合う時間を、より確保できるようにすることを目的の一つとしています。その効果を生かし、子どもたちの成長を見守っていくよう取り組んでいます。

12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方のITスキルアップをお願いしたい。</li> <li>・教師によりオンライン授業の進め方に違いがある。習熟度を上げてほしい。</li> </ul>	ITスキル養成のための研修を継続的に実施している状況です。まずは子どもたちの指導に必要な最低限のスキルを全ての教員が取得できるようにすることを目標に進めています。
13	いばスタのユーチューブでCMが流れたことがあったので、ないほうがよいと思う。	「いばらきオンラインスタディ（いばスタ）」は茨城県が管理運営しています。また、動画の中で流れるCM広告については、ユーチューブ側の仕様によるものですので、動画を配信している側で消すことは難しい状況です。
14	教室のエアコンの吹き出し状況を調べ、風の流れる向きなど対応する必要がある。	感染症対策で換気をしている状況下で、エアコンの設定が強めの学校もあります。子どもから個別に先生に申し出ていただいて、先生が各教室の風向きや風量設定を変更することが基本となりますが、各学校にエアコンの設定状況に配慮するよう指導していきます。
15	オンライン授業について、カリキュラムを保護者に提供することで保護者の対応が取れる。	令和3年度当初は、カリキュラムを学校のホームページに掲載していましたが、現在は、1週間分のカリキュラムをお子様の端末に送っている状況です。保護者の皆様は、お子様の端末をご確認いただきますようお願いいたします。
16	<p>教室のカーテンが何年もそのままでコロナ対策でカーテンを洗濯することになったが、学校には使える予算がなく、保護者が出しているPTA会費を使ったが再考すべき。</p> <p>教室のカーテンは明確に学校のものであり、洗濯代は教育委員会が負担すべき。各学校で、どのように扱っているか調査すべき。</p>	学校のほうに配当でクリーニング代を計上しておりますが、一部の学校で、足りないという声があることも把握しています。今後、各学校の状況等を確認しながら増額についても検討していきます。
17	教育後援会費を保護者から400円集めているが、使い方に違いがあるようである。市のPTAの会議などで取り上げてほしい。教育後援会費について、クラウドファンディングなどの活用はできないか。出費してくれた方に、生徒の作品などを贈るなど工夫してみたらどうか。	ご意見として受け止めさせていただきます。

18	カッターナイフの事件などもあったが、防災無線が聞き取れない。聞こえるよう改善を。	聞き取りにくい方たちのために防災ラジオやメール登録などをご案内してまいります
19	放課後の児童生徒に関して、学校に通報しても午後5時以後はつながらないので困る。教育関係の部署につながるようしてほしい。	午後5時以降に緊急の連絡がある場合には、市役所に連絡をいただきますようお願いいたします。
20	障がいがある生徒への対応について、教員を対象にした研修会などを行い、理解を深めてほしい。	現在、教員に対する特別支援教育に関する研修会を実施しております。また、それ以外にも特別支援学校からも各学校を巡回していただいたりするなど、外部の支援も活用しながら、特別支援教育に対する教員の理解が深められるように努めています。
21	学校と地域との連携に生かすため、人材バンクなどを地域に働きかけたらよいのでは。	各教科、特別活動、道徳、総合的な学習の時間等に専門性の高い講師を派遣する地域人材活用事業を行っています。